



# 碧南ロータリークラブ週報

## 第2383回例会 平成19年10月31日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

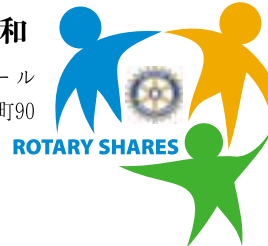
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度  
国際ロータリーのテーマ

**ロータリーは  
分かち合いの心**

### ● 斉 唱

ロータリーソング 「手に手つないで」

### ● 本日のメニュー

とんがり帽子

## 会 長 挨 拶



鈴木 敏弘会長

先週の10月25日(木)一色ロータリークラブの創立45周年記念例会に私と石橋幹事の2人で出席させて頂きました。一色クラブは1962年(昭和37年)10月25日西尾クラブをスポンサーとして会員30名日本で505番目のクラブとして創立されたクラブであります。ちょうど45年目に式典が行われた事であります。式典にはガバナー補佐、両幹事地区のご来賓そして親子関係の西尾クラブ、西尾キララクラブと碧南クラブの会長、幹事、会員、会員家族の出席のもとに式典が行われました。

神谷会長は創立以来歴代ガバナーのご指導と歴代会長をはじめ会員ご家族のご理解とご協力を頂き本日を迎える事が出来、心より感謝致しますとともに、さらなる50周年、100周年を迎えられますよう今後一層会員各位のご協力をお願い致しますと挨拶されました。

本日はアメリカ合衆国の記念硬貨とドル紙幣についてお話をさせて頂きます。アメリカ旅行で最もよく目にする硬貨がクォーターと呼ばれる25セント硬貨です。通常使用されているコインの中で一番大きく自動販売機をはじめちょっとした買い物やチップには欠かせない25セントコインであります。1999年からなんと10年間で50種類のコインを発行しているのです。50州(5種類)ずつ発行されており、既に42州が通貨として流用しています。各州の歴史やシンボリックな建造物、人物、景色、州の地図などさまざまである。因みにフロリダ州はスペースシャトル、ニューヨークは自由の女神、インディアナ州はインディアン5000のレーシングカーなどコインを通じてアメリカの歴史を学ぼうと米国造幣局は呼びかけているそうです。来年2008年の末にハワイ州が最後の50番目に発行され集結思ひきは、今度は歴代の大統領の肖像をデザインに現代の第43代ブッシュ大統領も含め計画中のようです。米国渡航の機会があれば是非25セント(クォーター)コインにちょっと目を留めて下さい。ドル紙幣では1.5.10.50.100ドル紙幣は一般出回っておりますが、1976年建国2000年を記念して、2ドル紙幣が発行されております。私の知人は運よく渡米中に空港にて両替したときに中に入れており使用せず大事に今でも保管しておられるようです。デザインは独立宣言起草者のトーマス・ジェファーソンで裏面は独立当事者のジョージ・ワシントンなど会議の様子が印刷されています。又ワシントン造幣局では1ドル紙幣の末切断16枚つづりが20ドルで販売されております。日本では想像も出来ない光景であります。

## 幹事報告

- 他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。
- 本日メールボックスに12月22日(土)のクリスマス家族会のご案内を入れて置きましたので宜しくお願いします。



石橋 嘉彦幹事

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数 80 名 (内出席免除者 12 名) 出席者 71 名	
出席対象者 63/68 名	出席率 92.65%
欠席者 9 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 95.59%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

- 山中 寛三君 前回のインフォーマルミーティングで、万歳をやらせて貰い有り難うございました。
- 新美 孝君 過日の10月25日赤坂御苑において天皇皇后両陛下の御催しの園遊会に家内共々お招きをいただき両陛下皇族ご一同よりお言葉を賜り恐懼感激誠に光栄でありました。
- 長田 昌昇君 新美雅浩君に青春をよみがえらせて頂きました。
- 池田 弘孝君 マルスギ株式会社第四工場火入れ式おめでとうございます。建設工事で大変お世話になり有り難うございました。
- 鈴木 敏弘君 } ガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問、インフォーマルミーティングと皆様の  
石橋 嘉彦君 } 協力によりまして無事終える事が出来、ありがとうございました。  
インフォーマルミーティング設営にあたって親睦活動委員会の皆さんにはご苦  
労様でした。
- 石川 春久君 今週の日曜日11月4日NHKの「のだ自慢」是非ご覧下さい。
- 犬塚 敦統君 10/27. 28 三河湾チャリティー 100km歩け歩け大会嵐の中413人が完歩されました。多くの皆様にお世話になりました。
- 鈴木 輝彦君 南愛知カントリークラブ10月マンスリーにおいて優勝し、ハンディが11になりました。
- 平岩 辰之君 先週、石川春久さん、棚田道和さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 新美 惣英君 愛煙家の方申し訳ございません。明日11/1より、愛知県下のタクシーは全車禁煙となります。ご理解を。
- 竹中 誠君 還暦の祭礼行事が無事に終わりました。
- 岡本 明弘君 良い体験が出来ました。
- 森田 雅也君 犬塚様の会社主催100kmウォーク大会に出席させて頂き、職員共々4名完歩させて頂きました。職員共々の感動を有り難うございました。
- 堀田 益隆君 10月19日の全国信用組合大会において、役員功労者の部で、「けんしん」からは元監事の山中寛三先生ならびに元理事1名と私の3名が表彰されました。
- 榊原 俊二君 本日卓話をさせていただきます。よろしく御願います。

## 私の履歴書

こんにちは、ただいまご紹介をいただきました、榊原俊二です。

本日は、卓話の機会を与えていただき、感謝をいたします。

テーマは、『わたしの履歴書』で、お話をさせていただきます。わたしのような若輩ものが、みなさんに、お話できるような、特別な履歴はございませんが、わたしの歩んできた人生について、すこし、お話をさせていただきます。



- ①まず最初に、生まれについてですが、わたしは、半田市に、昭和34年8月28日（1959年）に生まれました。今年年男のいのしし年です。この年は、わたしは、もちろん記憶が、ございませんが、この年は、伊勢湾台風の年で、母からは、生まれたばかりで、本当に大変だった、とよく聞かされました。高校卒業まで、ずっと半田市で育ちましたが、高校を出るまで、半田市を出たことがない田舎者です。半田市という町は、皆さんも、よくご存知かもしれませんが、祭りが結構有名で、毎年春に各部落ごとに、毎週のように、催されます。亀崎の潮干祭りが特に有名ですね。ちなみに、わたしは、亀崎ではなくて、上半田という地区でやっています。先日は、5年にいちどの、半田中の山車が勢揃いする、『半田山車まつり』がありまして、わたしも2日間にわたって、山車の曳き回しをしていました。とっても疲れしました。
- ②昭和53年4月に、名古屋工業大学にすすみました。やはり愛知県をでたことはありません。この名古屋工業大学の学生の、マージャン好きは、とても有名で、通称『赤本』と言われている、大学の紹介や、過去の入試問題などが掲載されている本にも、学生のマージャン好きが、書かれています。入学をしてみると、確かに、マージャン好きの学生が多く、学校の周辺には、雀荘が、数え切れないほどたくさんありました。もともと、わたしも、マージャンは、好きでしたので、すぐに、漏れなく、この仲間となっていきました。ちゃんと、計算をしたことはないのですが、学生時代に、授業を受けた時間と、マージャンをやっていた時間とでは、マージャンをやっていた時間のほうが、きっと、はるかに多いのではないかな？と思います。
- ③昭和57年4月に、大学卒業の後、アイシン精機に入社しました。社会人になったときも、やはり、愛知県をでたことはありません。本社は、刈谷市にありますが、わたしが配属されたのは、豊田市に唯一ある、『新豊工場』という工場でした。入社した時の職種は、『生産技術』でした。つまり、製品をつくる工程を、設計する仕事です。今から、25年ほど前のことですが、結構大変な時代でした。上司からは、『残業が勲章、新入社員が有給休暇なんて、10年早い！』といわれていたころで、よく徹夜もやりました。入社して2年目に、結婚をしましたが、なかなか、遊んでいる暇がなくて、女房には、よく文句を言われました。でも、子供は、すぐにできました。忙しいほうがすぐにできるのかな、ともおもいました。早くに結婚をして、子供もすぐにできましたので、子供は、すでに大学生と高校生で、上の長女は、もう就職活動に入ろうとしています。下の長男は、来年、大学受験を迎え、ようやく、勉強をするように、なってきてくれました。先日、幸いにも、福岡の大宰府天満宮に、行く機会を得ましたので、息子の合格を祈っておきました。さきほど、申し上げましたとおり、以前は、『残業が勲章』、という時代から、最近では、時間管理がとても厳しくなり、上司が、部下に、有給休暇をとらせなくていけない時代になってきて、ずいぶん様子が、変わってきたなと思います。
- ④この新豊工場には、一番長く在籍をして、約20年くらいおりましたが、一貫して、生技畑を歩

んできました。 各種のプレス品、シート製品やドア部品の溶接・組み立て、など、多くの製品・多くの工程を、手がけてきました。中でも、1番思い出に残っている製品が、ドアフレームです。このドアフレームという製品は、自動車のサイドのドアの、ガラスが昇降しているところの窓枠で、ボディーの一部にもなっている製品です。ロール成形や、ベンダーなどの工法を使って、作っていく製品で、もともと、すこし難儀な製品なのですが、トヨタさんの、世界で一番の車をつくろう、という高い志で、初代レクサス・日本名セルシオのドアフレームを手がけました。本当に難しい製品でした。ボディーの一部ということもあって、トヨタさんのボディー生技のみなさんとも、(当時は第2生技部とっていましたが、)ずいぶん一緒に、仕事をさせていただきました。このセルシオのドアフレームを、ものにするまでに、ボディー生技のみなさんとも、よく、夜遅くまで、いっしょにやっていました。今でも、その当時のみなさんとは、たまに交流をさせていただいておりますが、そのときの苦労話はずきません。ドアフレームという製品は、荷姿が非常に大きく、物流効率が、あまりよくありません。また、ボディーとのフィッティングも必要な製品、ということもあって、世界各地で、お客様の工場の門前で生産を、求められています。したがって、非常に多くの、海外の国で生産をしております、いまでは、14の国での生産となりました。

⑤そんなこともあって、2003年から海外勤務となりました。出張では、いろいろな国に行く機会が、ありましたが、いままで、愛知県以外で、生活したことがないのに、愛知県からでることになったら、いきなり海外勤務でした。最初にイギリスです。バーミンガムという、イギリスで2番目に大きい都市でした。2番目に大きい割には、日本食のレストランなどはほとんどなくて、日本食材も、ロンドンまでいかないと手に入らない、という状態でした。イギリスという国は、女王陛下の国で有名ですが、一方で、食事のまずい国としても非常に有名で、本当に何を食べても、まずかったですね。イギリスといえば、『フィッシュ&チップス』というくらい、有名な食べ物があります。ようは、魚の天ぷらとポテトフライ、みたいなものですが、これが実にまずい。アメリカにも、繊細な食べ物はありますが、そのアメリカ人でさえ、イギリスの食べ物のまずさには困惑だというくらいでした。本当に、イギリス人の味覚はよくわかりません。

⑥イギリスでの任務を終えて、今度はアメリカに転勤となりました。弊社の、直属の現地法人が、2007年9月現在で、35ほど、ありますが、北米には、当時すでに、15の生産法人がありまして、営業統括拠点は、ありましたが、生産統括の機能が、徐々に必要となってきた、北米生産統括拠点の設立のタイミングに、北米勤務をしております。アメリカという国は、やはり、スケールの大きさという点では、目を瞠るがあります。当然のことながら、北米各地の拠点に、出張することがよくありまして、飛行機で移動することもありましたが、多くの場合は、車での移動でした。この移動距離がまた半端じゃなくて、名古屋から東京くらいを、よく日帰りで移動という感じで、やってました。日本ではなかなかないことです。2005年の3月、ちょうど北米に赴任して、1年くらいが過ぎたころですが、非常におおきな病気をしました。『くも膜下出血』です。みなさんも、よくご存知だとおもうのですが、この病気は、いったん発病すると、約半分くらいは助からない、また、助かったとしても、何がしかの障害が残る、とされ、完全に直ることは少ない、と言われている病気です。本当にいくつかの運のよさに恵まれて、どこにも障害も残ることもなく、助かることができました。その当時の状況を、すこしお話いたしますと、わたしは3つの幸運に恵まれました。 毎朝、マネージャー全員でのミーティングをやるわけですが、そのミーティングを終えて、みんなとたばこを一服していたときに、突然発

病をしました。わたしは、家族と一緒にということではなく、単身赴任をしてましたので、もし、仮に、夜中に自分の家とかで倒れた、ということになっていたら、助からなかったのでは、と思います。朝の、今から活動開始という時間帯に、みんなの目の前で倒れた。まずこれが良かったですね。これが1番目の幸運です。つぎに、当時、わたしは、インディアナ州のシーモア、という町にいたのですが、会社で倒れて、すぐに、近くのシーモア市内の病院に運ばれて、CTスキャンで、脳内出血がおきているとわかりました。車で1時間くらいのインディアナポリスという、インディアナ州の州都に、全米でも有数の、脳外科専門の病院がありました。メソヂスト病院というのですが、このメソヂスト病院に、ヘリコプターで搬送されました。このヘリコプターも、その年に配備されたばかりのもので、処置の早さが肝心の、この病気に対しては、救急車ではなく、ヘリコプターを使っての搬送は、とても有効なものでした。生まれて始めてヘリコプターに乗りました。これが2番目に幸運だったことです。メソヂスト病院で、わたしの執刀に当たってくださった先生が、『神の手を持つ』、といわれている先生で、非常に多くの患者を救ってきた先生でした。この先生が3番目の幸運です。わたしは、こうして、いくつかの幸運のお陰で、助かることができました。トータルで、3週間くらい、入院していたのですが、退院の際に、先生に、やっていいことと、やってはいけないことの二つを、たずねました。先生は、何をやっても構わないが、タバコだけはやめなさい。と言われました。そのとき以来、たばこをきっぱりと卒業いたしました。『くも膜下出血』という、大病を患いながら、まさに、『九死に一生』を、得たわけなのですが、どこに障害が残ることもなく、命拾いをして、おまけに、一日に2箱以上吸っていたタバコまで、やめることができ、本当に運が良かったと思います。今までも運のよさだけに頼ってきた感がありますが、今後は、すこしからだに気をつかいながら、やっていきたいと思っています。

⑦日本に帰国してから、本社ですこし過ごしたのち、新川工場に勤務し、現在にいたっております。本日、こうして、お話をさせていただいておりますが、いくつかのご縁を感じることがあります。新川工場に勤務をすることで、この碧南ロータリークラブに、入会する機会を、得た訳なのですが、みなさん、ご承知のように、わたしの生まれた昭和34年に、碧南ロータリークラブは、発足をしています。碧南ロータリークラブの誕生とともに、わたしも産声をあげたわけです。また、そのときの、チャーターメンバーのひとりが、弊社の前身の会社である、新川工業の社長だった渡辺新八です。わたしは、へたくそですけども、ゴルフをするのが、とても好きで、かねてより、手に入れたかったゴルフ会員権を、笹戸カントリークラブといたしますが、昨年、手に入れることができました。そのコースの設計をしたのが、また渡辺新八ということで、いろいろと、なにかのご縁みたいなものを感じております。

⑧あまり、みなさんの益にもならない、取り留めのない話ばかりをして、大変恐縮ではございますが、最後に、今後も、諸先輩のみなさんの、ご指導をいただきながら、精進してまいる所存ですので、なにとぞ、よろしく願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

次回例会案内 平成19年11月14日（水）  
「私の履歴書」 会員 市川裕介君